

刊夕日二廿月七

常警每日新聞

定額 一圓五角
廣告料 五號十二字 第一行 金五拾錢
日曜祭日の翌日 休刊
発行所 常警毎日新聞社
印刷所 常警毎日新聞印刷株式会社



盆踊と盆唄 (二)

霜月寮 白土五郎

そこで現今日本の津々浦々に盛んに流行してゐる民衆藝術の王者である盆踊盆唄の起原である。

二、盆踊と人間性
踊と歌は宗教意識を誘導するに最も大なる役割を演じてゐる、踊と唄の中に宗教があるとも云ふことが出来る。言葉を換へて言へば相対的の自由の世界から絶対的自由の世界に人間を導くのである。

このことは盆踊をしてゐる人のたれもが体験することであつて、冷感自知だけでは解らない、冷感自知である。生理的に云ふとあの一定のリズムで筋肉を動かし一定のリズムで唄へてゐる時間継続すると、怨怒として有限の持内より無限の域に飛躍する、そこは絶対的自由の世界である、田舎に棲む若き男女はかゝる自由な世界があるからこそ生々した生活が出来るのである。

見よ!! 盆踊に無中になつてゐる人達は皆なにもにも因はれない無我の自由の境地に遊行してゐることを!!

藝者などの踊ることゝたふことは金のために強制され、生活のために過ぎなくなくやるのだから技巧はあつても、そこには生き生きとした自由はない。盆踊は素朴であつて技巧はなく、赤裸な自由な人間性を露骨にうたふ踊るのである。

ある時代、十三四年前は無粋な當局のために風俗紊亂とか何とか言ふて禁止されたこともあつたが、村の人達は濱邊に、川原に官憲に陰れて盛んにうたへ踊つて止まなかつた、原始以來人間にとつてうたとおどりはなくてはならぬ一つである。如何なる野ばら人、人喰人種と雖もうたとおどりは持つてゐる。うたふところ、おどるところに快樂と自由はある。近年文部省あたりが肝煎りて盆おどりを鼓吹するやうになり、大寺院などでは盆おどりの講習會を開いたり、懸賞で盆うたをラヂオで放送されたりするやうになつた。

三、無我と盆唄
ぼんうたは學者や坊さん

文藝募集

うたをもつてシツペ返す。このあたりは禪宗の坊さんでも素足で逃げだす、彼等は自由自在にうたをもつて以心傳心禪問答をやる、これらの娘さんに翌日になつて昨夜のうたをうたふつて聞かされて云ふたら顔を赤くして逃げるであらうぼんおどりを出来る人は幸福だぼんおどりを出来ない人はていさいとか人身とかの假面をかぶつて赤裸々になさい、私心のある無我の自由な仙境に入ることの出来ない哀れな人である。

門 専
婦 産
人 科 科
花 柳 病 科
入院隨意

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

品慢と
正直な値段

自轉車・リヤカー
フタバ商會
新川町郵便局前

喜多流謠曲と仕舞の稽古をお奨め致します

平町田町六九
電話一二七番

時代の要求皆様の足!!

尼子タクシーへも

豆タクが入りました
御立關から立關へ……迅速簡便
是非御利用を……

市内……三〇錢 市外……四割引

流線型セダン 大型貸切バス
宮行——直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします

平町二丁目
電話六四〇番

喜多流 白土會

入會隨時

橋本屋神佛具造花店
——速迅價廉——

僅かの氷で非常に早くよく冷える
（丸ほん冷蔵器）
御家庭にも御營業にも最も理想的な冷蔵器……
今年の外壁の絶縁装置を特に完全に改良を加へましたのでより一層僅かの氷で非常によく冷える様になりました。
部の構造にも一大改良を加へましたので排水が良くすべて便利になりました為に貯藏される期間も延長されました。
価格は……精選した材料を完備した製法に依る大量製造の爲め良品を廉價に御提供する事が出来ます。

株式会社 丸ほん商店
營業所 平町三丁目一六
電話三五九番
振替東京二七二四
製作所 新田前
電話一八二番

番一六三電 町川新町平

旅大旅館

私は平町出生ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります

主人 比佐棟雄

東京下谷郵便局前
東上野駅前
角通横角
電話七六六番

海は招く 常磐觀光協會が ハイキング宣傳 各方面にピラを配布

勿來附近の景勝地を

郡南勿來隣縣大津、平瀧、磯原の四町から成る常磐觀光協會では既報の如く勿來を起點とする平瀧、大津等を経て磯原に至る風光絶佳の景勝地をハイキングコースとして廣く天下に紹介すべく計畫中であつたが愈々

本格的夏の訪れと共に各學校も暑中休暇になつたのでこれが誘引策として『海は招く』のポスター約千枚を製作、東京始め常磐、磐越東線、兩毛、東北本線等主要驛に掲出すると同時に各方面に配布宣傳を開始した

青年團の手で...

聯合火防組を組織

總會を開き役員決定

平町青年團聯合火防組(元平町聯合火防組が改稱)は此程總會を開き左の如く役員を決定した

- (組長)大嶺庫(副組長)山崎忠兵衛 藁谷喜太郎 (理事)阿部傳吉 柏原光太郎(顧問)柴田平署長 井上組頭

米價値下

昨日の共販

既報昨廿一日行はれた平農業倉庫の共同販賣は引續の米價の値下りが影況し出荷數は五百五十五俵で最近にない減少を見せたが入札の結果建値一俵高値十二圓五十六錢安値十二圓三十七錢で

遊戯講習

都合で繰上

既報八月六日から開催する遊戯講習會は都合に依り二日に繰上げ平第二講堂で三日間開催する事になつたが講師は東京府立第六高女鈴木タケ教諭に決定した由

点呼豫習

平町で開く

平町では来る八月六七兩日(入寄留七日)平第一校に執

勝(二百級泳)大平 佐藤 菅野 北野(八百級泳)先崎 大平 佐藤 菅野 (三百メートル)佐藤 北野 末永

水泳競技

出場者募集

體育協會石城支部は来る九月六日福高商高プールに開催される本縣體育協會主催縣下水上競技大會の出場者を募集する事になつたが資格は男子中等學校青年團其他一般希望者で種目は左の如く希望者は九月一日迄に出場種目、所属團體名氏名年齡を明記同會支部(平第一校内)宛申込まれたいと

入山と一戦 磐中水泳部は来る二十六日渡邊、松本、中柴の各教諭引率の下に入山に遠征午前九時から同礦プールで一戦を交ふる事になつたが當日の出場選手は左の如く目下猛練習中

- (自由型)鈴木龍一 先崎 正 佐川一定 大平芳人 佐藤久三郎 菅野正雄 (背泳)坂本貴順 菱沼三郎 北野正明(平泳)末水 泳百米

萬年堰が出来たが

降雨毎に藤原川氾濫

是では困ると管理人

玉川村大字野田、住吉兩大字専用の灌漑用水門たる磐崎村下船尾地内の藤原川萬年堰は從來の土堰を自動自轉堰に改造して以來、使用年には多大の便宜を得ることになつたが之が管理方法に就て不充分のため降雨毎に藤原川が氾濫して同堰上

流の磐崎村では堤防欠潰、土砂流失の被害を蒙るので愈々同堰管理人を設置するの要に迫られ之が具体案樹立のため平土木監督所に陳情する處あつた 尚小林平土木監督所長は右視察のため本日玉川村に出張した

郡下の産業調査

平商夏休中の課題

平商は今年も夏季休暇中四年生に對し郡下に於ける産業を調査させる事になり此程主なる産業會社に夫々挨拶状を出したが優秀者には商友會が奨励金を交附する筈

橋助役が勇退

檢車場助役橋輝久氏は今回異動を機として後進の道を開く爲め勇退することになつたが氏は大正六年奉職以來十九年間精勵業務に盡したので關係者は氏に記念品を贈ると

平校事務打合せ

第一、第二、第三各小學校の事務打合せ會は二十二日午前十一時から第二校會議室に開き八月中の行事夏季體育施設に關する件、ラヂオ體操の會に關する件、夏季講習會に關する件、其他を協議した

水難救濟功勞

濱町大平勳氏は帝國水難會の事業に協賛して功あつたため此の程帝國水難救濟會總裁博恭王殿下より第二有功章を受與された

柴警部補轉任

平署第二司法主任警部補柴一枝氏は三春署管内常盤警部補派出所勤務に本二十二日午後發令された 同氏は昨年九月着任したもので赴任日は未だ決定しない

平驛事故防止 既報今廿二日の平驛事故防止打合せは會場を久ノ濱町漁業組合樓上に變更して打合せを行った

平商 喜多方

△鎌田町一五 當時名古屋市南區豊田町宇道徳己新田二七六四和留造さん(二ツ)

△商町三五 鈴木小次郎氏 五女トシ子さん △回 死 亡 △田町五五 當時東京市淀橋區東大久保一丁目四二〇島田きよさん(五〇)

三井タクシ 番五八六電・二平

店主が店員	を連れ	か	正	正	正
行	る	れ	シ	シ	シ
			イ	イ	イ
			酒	喫	食
			場	茶	堂

平・田町 レストラン ロン 電三五二番

ほね つぎ 大河内接骨院 平町才樋小路 電五八八

此の經濟は

罷りならぬ

パイプ屋取調

平署では昨廿一日夜「經濟パイプ」と稱する商品と共に茨城縣石岡町若松町生香具師鈴木清次郎(四〇)を引致取調べてゐるが右は數日前から平町二丁目常陽銀行附近夜店で巻煙草製造器入れの刻煙草を使用して巻煙草を造る「經濟パイプ」なる物を一個二十錢で販賣これは便利だと飛ぶ様に賣れてゐたものであるが煙草專賣法に抵觸するとあつて引致されたもので平署では同時

死の一步前

平署員が取押

宿屋に残した遺書一本

横濱市鶴見區下末吉町自動車工業會社職工茨城縣鹿島郡白鳥村生れ菅谷信雄(三〇)は神經衰弱と稱して會社を休み十八日夜漂然川前村旅人宿坂本屋こと佐藤サダ方に宿泊したが昨廿一日朝自殺する旨の遺書を宿屋宛殘して姿を晦ましたので捜査中の處同夜九時頃湯本町地内を徘徊中平署員に發見され保護を加へられた

水天宮の宵祭

平町鍛冶町鎮座水天宮宵祭は本

難破船の救助表彰

小名濱町渡邊由藏氏は去る四月二十五日茨城縣多賀郡平潟町二海里の海上で荒天のため難破危険に瀕した同縣大津町横山周吉外三名を救助した功に依り伊藤知事から金一封に添へ表彰された

老人救出

火災の際に

好間村安濟利雄増子金藏湯田徹の三君は去る三月六日同村北好間平山定吉方焼失の際老翁のため危機に瀕した定吉翁を救出この程伊藤知事より人命救助で金一封を添へ表彰された

思ひの儘に

逃す酌婦其他の搜索願

宮城縣石巻市住吉新地料理業佐藤屋こと佐藤善之助方酌婦鈴木みづ(三〇)は豫て馴染を重ねてゐた同市鈴木民治(三〇)と思ふ様な逢世を樂しめぬので兩名謀し合せて去る五月卅一日ドロンを極めこんだが最近になつて平方面に愛の巢を營んで居るらしい形跡があるため昨廿一日抱主から平署へ捜査方願ひ出た

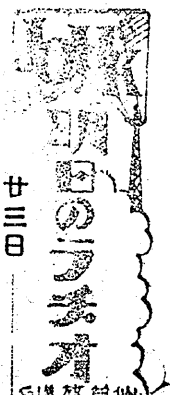
賭場及傷

豫審が終結

既報去る十六日植田町の馬市を當て込みに開張した賭場のもつれから同村好間村大字椎木平小山庄一方竹永有(三〇)を七首で突刺し遂に死亡せしめた植田町の殺傷事件犯人植田町大字植田字本町八料理店高原新助(三〇)に係る傷害同致死賭博開張並常習賭博事件は過般來平支部の豫審に廻され關口判事係りの下に取調中であつたが今二十二日終決有罪と決定公判に附されたので迄く平支部で中島裁判長係りの下に公判を開廷すると

裁判一東

△既報去る五日夜勿來町大字酒井字出藏飯場村幸政氏方に忍び入り寄宿中の石井秋之介、井關岩太郎兩君の衣類雜品等約二十圓分を窃取逃走する十四日朝植田町を徘徊中逮捕された小名濱町字役場前科二犯崎村正太郎(三〇)に係る窃盜事件の公



明日は南の風晴

今晚の部

△後六〇〇 子供日本史無お話壇「浦の戦」宮原花樹
△後六二五 趣味講演「アグーレス群島の風物」大島廣
△後七三〇 講演「ラヂオ體操の會を振興普及する」には「中村幸二 伊藤民太郎 遠藤養四郎
△後八〇〇 落語「我も守れ」柳家金語樓
△後八二〇 ラヂオオムメデイ母の夏祭 千葉早智子
△後九〇〇 民謡組曲夏祭 阿部幸次 加藤千恵 大

明日の部

△後九三〇 時報 ニュース 明日の話題 氣象通報 番組豫告
△前六二〇 速成獨語講座 登張信一郎
△前七〇一 朝の修養一即身成佛義一兒玉雲立
△前一一三〇 家庭講座「魚類の知識」大谷武夫
△後〇〇五 吹奏樂 大阪市音樂隊(桃谷中繼)
△後〇三五 國民歌謡 軍歌「愛國機」東京リッダー
△後二〇〇 家庭講座「藥になる夏の草木」牧野富太郎
△後六〇〇 お話「齋藤七五郎中將」戸田開界
△後六二五 講演「羽黒派修驗道に就て」實演付 宮田春金他
△後七三〇 宮城縣經濟更牛講演と座談會
△後八三〇 俳諧 徳島市富田町檢番連他(徳島市稻荷座中繼)
△後八五〇 映畫劇「お祭佐七」日活京都撮影所連(京都)

平職界の所報告

△出前持 廿才迄 給五圓
△職を求め方
△石版印刷工 廿五才 高卒
△コック 廿四才 尋卒
△サイドカー運轉手 卅才 尋卒
△見習看護婦 廿三才高卒

新發賣一文字帽!

絶体日焦けせず 雨にも丈夫な
いつも新らしい 實用新案帽
エバー・ニュー・ストロー
四菱編 五〇ヨリ
支那麥編 六〇ヨリ
お電話次第御覽に入れます
田町通り

玉屋洋品店

電話六五六番



(上野上)

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)

一七七 黒門口敗る

上野の戦争にてはもつと
も黒門口が激戦であつた、
敵も味方も必死になつて戦
つた、すると彰義隊を擁護
するために山王臺から大砲
を射ち出してゐたが、この
時それに居つた會津の兵お
よそ三四十人打ちそろつて
官軍へ斬り込むことにいた
したにつきしばらく發砲を
止まれとかういつた、これ
は同士討ちせぬやうにとの
注意、そこで打ち方が猶豫
した、この間に黒門口は官
軍のためにやぶられた、戦
ひ終つて後にこれは官軍が
間諜を入れおいて掩護射撃
を止めたものであらうと察
したさうです、すこし察し
方がおそかつた、さア黒門
口がやぶれると大波の押し
よせるがごとく官軍は亂れ
入る、これを酒井幸助が部
下の兵をばげまして力のあ
らむ限りをふりしぼつて防
戦いたす、時に彰義隊の頭
取池田大隅守は防戦ももう
これまでと思ひ、今の内に
輪王寺の宮様をおとし參ら
せむと本坊に參つて覺王院
義觀にこの事つをげた、義
觀も時々刻々に味方が不利
の地に陥るを見て大隅守の

説に同意し宮様を奉じ日光
に走り、會津の手と合して
再舉をばからむと御前へ出
て日光へ御動座のことをお
伺申しましたが余は當山
より一步も退かぬと仰せら

ついでに當山には家康公の
木像を安置いたしある、そ
れを兵火のために灰になす
はおそれ多し、よつて總督
の宮様に嘆願してお木像を
うけ取り日光山へうつし參
らせむため砲火を冒してま
かり越した、何とそこの車
輪王寺の宮様に御披露した
されてお木像をお渡しくだ
さらば有難き仕合せ
とかく申し入れた、宮様
は覺王院よりこれを聞かして
めし直に木像を取り出して
山岡に渡しましたが鐵太郎
これをいたゞいて紫縮緬の



れた、さア一同當惑いたし
た、折しも山岡鐵太郎は總
督府の印章の付いた旗を押
し立て兵士三十有余人を従
へて穴稻荷門より山内に入
り、本坊に參つて覺王院義
觀に面會いたして
鐵「拙者の心つくしも水の
泡となりかゝる大事を生ぜ
しこと今更申すも詮なきこ
とであるがさても遺憾至極

ひもにてしつかり背にく、
し
鐵「東照宮のお木像當山を
はなれこの上は輪王寺の宮
様にもお木像と共にお立ち
のさあつてしかるべく存ず
る」
と申し入れた、これは宮
様をおつれ申す意志、覺王
院よりこの事を申し上げる
と宮様は山岡の厚意をお喜

び遊はされたれど、我は存
する旨あれば當りに止まる
山岡は太像を守護して速に
この山を去れと仰せられる
さア鐵太郎も困つたこれへ
參つたは宮様をお救ひ申す
ため、ところがお立退きに
ならぬ、最早これまでと山
岡はその木像を背負ふて本
坊をはなれると大分負傷者
が黒門口よりこちらへ落ち
て来る、これを見て山岡は
もう戦ひもこれまでと思ひ
やがて部下の兵士にむかひ
鐵「車坂の榊原健吉方に參
つてこの戦ひのさまを告げ
早速御本坊に參つて輪王院
の宮様を守護せよと申せ」
とかういつて兵士を榊原
のもとに走らせ、自分は小
石川の傳通院に來て一時こ
の木像をこゝに差置きまし
た、さて榊原健吉ですがこ
れは幕府講武所の劍道師範

役、十四代將軍家民公の御
前にて、明珍のきたへた甲
を切つた事もあり、劍術に
ては大家です、住居は下谷
の車坂にあつた、維新の後
寄席の主人となつたがなほ
大髻に取り上げて黒袖の紋
付の着物に小倉の袴をはき
鐵扇を引き付けて木戸にす
はつてゐて客が入つて來る
と
健「あゝよく來たのう、貴
公は今日で四日續けて參る
が感心々々、せめて一週間
續けて參れば必ず効がある
」
といつたが、これでは温
泉へ入る様、頑固な席主が
あつたものです、その榊原
のもとへ山岡鐵太郎から使
を出しましたがこの人の門
人も大分上野に入つて戦つ
たものもあります。

ウワツハツハツハ

生の旨さを知らずに
ピールを語るなんて?

例年の通り生ピール賣出し

キリンピール仙臺工場直送

……(毎日午後三時着荷)……

平會館

吉田眼科醫院

平紺屋町 電話 六八番

醫學士 吉田久雄

開業參拾週年記念

謝恩デー (七月廿四日一日間)

三重景品附大賣出し……金五拾錢以上御買上の御方に
球ナフタリン進呈

平町古鍛冶町縣社の下
衛生相談所 阿康藥局
電話 四四番
振替口座 東京三〇〇六

海水浴は豊間へ!!

白砂青松 一日の潮干狩
お家族連れも絶対安全

豊間 海水浴場 接近・遠淺・磯遊びに好適
沼ノ内 海水浴場 沼ノ内辨財天 賽ノ河原(薄磯)
二見ヶ浦 大敷漁業

設備 (無料脱衣場) 娯樂の設備あり
貸間 (一疊壹圓内外) 御紹介あれば 御便宜取計ひます

自動車料金 期日七月十五日ヨリ八月三十一日マデ特別割引
平……豊間片道三十錢 (往復) 四十五錢
平……薄磯・沼ノ内片道廿五錢 (往復) 四十錢

主催 豊間村青年團
後援 豊間村消防組
野崎自動車部 電話三四三三四〇番
鈴木自動車部 電話二二七番

今年も是非豊間へ!!

耳鼻咽喉科専門

平田町 (電話六九番)

山内醫院

醫學士 山内亨 吉